



沖縄県での開催は7回目となる、おきなわシーサーラウンド！今回は、6月の開催となりました。当初は、6月8日の開催予定でしたが、中体連の地区大会と重なり、急遽でしたが1週間づらしての強行実施となりました。県外からの参加が難しい状況での開催となり大変申し訳ございませんでした。そのような中、佐藤先生には沖縄に来ていただき、最新の情報提供をしていただきました。

今回は、県教育委員会で取り組んでいる「体育専科配置校の実践報告」と「体育・保健体育指導力向上研修（西部地区）の伝達研修」及び佐藤先生による『新学習指導要領における評価』についての情報提供やグループ協議を通して学びを深めていきました。体育・保健体育の授業づくりにどっぷりとつかった4時間でした！

1 「体育専科配置校の取組」について

まずはじめに、小学校体育専科配置校、宮古島市立北小学校の体育専科砂川晃輝先生より宮古地区における体育専科の取組についての実践報告がありました。小学校はもちろん、中学校、高等学校、特別支援学校等、校種の違う先生方にとっても、小学校の取組について知る良い機会になりました。



2 「西部ブロック伝達研修（保健）」について

次に、5月に行われた「体育・保健体育指導力向上研修（西部地区）中学校保健コース」に参加した、浦添市立浦添中学校の高木健一郎先生より新学習指導要領を踏まえた体育・保健体育学習の考え方、小中高等学校の発達段階を踏まえた課題解決を行う授業展開等についての研修報告がありました。

3 「新学習指導要領における評価について」情報提供及びグループ協議

まず、佐藤豊先生に「新学習指導要領における評価」について情報提供をしていただきました。それを受けて、校種別に5～6名の7グループに分かれて、グループ協議を行いました。

「今更聞きにくいけど知っておきたい事」「何がどう変わるの情報」「授業に関わって評価で困っていること」を色別にポストイットに書き込み現場での悩みなどをディスカッションし、情報共有を行いました。その後、各グループで出た意見等について、代表者から発表があり、それを受けて、佐藤先生からの解説と助言等をいただきました。

今回は、「解説の読みとり方」や「知識・技能の評価について」「思考・判断・表現の評価について」等について理解を深める研修会となりました。

難しい面もありましたが、今後の新学習指導要領全面実施へ向け、体育・保健体育の授業づくりを考えていく上で、とてもよい機会となりました。



4 最後に

最後に、それぞれの班の発表内容について佐藤先生から講評をいただき、本研究会を締めくくりました。今回、日程の変更などで開催の周知が遅れたことと、様々な行事との重なり等があり、県外からの参加者希望の先生方には大変申し訳ございませんでした。

今回のラウンドでは、県内の参加者も昨年度の28名から38名と増え、どの校種も活発な意見交換ができ、今後の体育・保健体育の授業のさらなる充実が期待できることを感じました。引き続き、体育の価値を高めていくために頑張っていきたいと感じることができた「おきなわシーサーラウンド」でした。

